

神戸をデザインする

神戸を美しくするために…



神戸の山を中心にデザインしよう
山をズバッと切りとって
思い切った利用を…
山上に学校・遊園地
中腹に住宅
ビジネス街は市街地に
交通機関は
ローラーコースターがいい

■出席者

宮崎辰雄

(神戸市助役)

小原豊雲

(華道小原流家元)

滝川勝二

(兵庫トヨタ自動車社長)

神戸西ロータリークラブ会長)

牛尾吉朗

(牛尾工業社長・緑化協会理事)

神戸青年会議所副理事長)

中西勝

(画家二紀会委員)

西村雅司

(西村写真研究所々長)

山田芳信

(アートディレクター)

挽地正雄

(グラフィックデザイナー)

—神戸を美しい町にしたいというのは神戸っ子の夢であり願ひでもあります。スマートな神戸は神戸っ子の誇りなので。

しかし、時の流れとともに自然神戸もいろいろ姿を変えてくるところ。そこで、神戸を美しくするにはどうすればいいだろう。現在の神戸、これからの神戸について、新しい神戸づくりの構想や神戸のデザインをやりがたをまとめてみようという座談会です

みなさまが、日頃、描いてられる、あるいは望んでいられる、新しい「神戸づくり」の構想やデザインをご披露してください。

布引に七色の滝と

ロープ・ウェイ

(宮崎)

宮崎 まず七色の滝でね、神戸市として考えてる試案があるんです。どこにも発表していなくて、調査を進めているという段階です

これは、夏の六甲山が満員混雑することから、裏山にもう一つ夕涼みが出来するような滝を作って六甲山の混雑を緩和しようというので考えたんです。そしてまずその一つの拠点を布引に作るというわけです。滝へ行く道などきたないですが、あれをもっと広げて、布引の滝に、あるいは俗っぽいやいわれるかも知れないけどナイヤガラのようなナイヤガラ照は照明して七色に変わります。あのように雄滝雌滝の両方に色をかえて照明する。そして上の水源池のそばにあるゴルフ場の裏側に



(宮崎長雄氏)

でも六甲山でいえばカントリー・ハウスみたいなを作ります。またあそこにはわりといい溪谷があるんですよ。雌滝から雄滝までの間がね。ここは都心からすぐ行ける場所ですから、夕方、10分か20分あったら行けます。そういうものを作ってね、少くなくとも、夏の夜はそこへ行けば楽しめるように街灯も作り明かしくします。そしてもう少しお金が出来たら滝を見るために生田川の川の上に駅を作り、川の上から水源池の上までロープ・ウェイをひき、ロープ・ウェイから七色の滝が見えるようにしようという案を持っており、来年から少しづつかかるうと思っております。

ダイナミックな構想

山の一角をズバツときる

(中西)

中西 僕はいま鴨子ヶ原三丁目に住んでますが、前は塩屋にいたんです。その時にはジェームス山の一番かかりだったんです。このジェームス山は東洋のスイス位の値

打ちはあるといわれてましたが、たしかにきれいですね、山の中腹というかなだらかな処をうまく利用してるんですが、神戸の名物といつていいほどなんですよ。

ところが、そういう中腹というのはね、鴨子ヶ原でもそうなんですが、今ほとんどつぶして行くでしょ。神戸の特質一屏風であるとか、山を最後まで残しておくのか、山をほとんどつぶして行って伸ばしていった方がいいのか。

とにかく僕の一つのダイナミックな構想としては、象徴的な山がありますでしょ。その一角位をズバツときってしまつてね、もう他の中途な処は放っておき、一角だけきつて、それを海へやるなり海で島を造るなりしてその大きな処をうまく利用してね、大きな公園でも住宅街にしてもいい。

あるいはその崖を利用していっぱい穴をあけ、そこに住んでもいいじゃないですか(爆笑)

宮崎 その点は、私たちが考えるのとチョツと違いますが、いいご意見をきかせて下さいました。私はね、山のスカイ・ラインは残すべきものなり——と、そういう観念が今まで頭にあつたんですよ

具体的に話をしますと、須磨の横山を全部きつてしまつてですが、その時にね、あれをとって一ノ谷の上にコンベアをしてね、一ノ谷の海岸のところへ突堤を出して海上ダンブで土を運んでいくんですよ。すでにコンベアの建設にかかっていますが、その時にいろんな問題がありましてね。いま中西さんのおっしゃったように、あの山がある一定の間をズバツとなくしてしまうという案も最初あつたんで

す。それで私は、それはいかんと須磨の裏から山がなくなってしまうということは市民感情が許るさなないだろうというのでね。水族館の屋上にあがって「あの山とあの山を残せ」、それからあそこについては、前山を残すんですが、「前山を残してスカイ・ラインにして後をきってしまえ」ということを私が指示してその通りにすることになったんですがね。

ですから、その当時に、中西さんの意見きいてたら山をきり切って裏の多井畑へ抜けるようにあるいはしたかも知れない(爆笑)中西 いや、僕思うんですけどね山の赤ハダね、あれは案外きれいと思うんだがな。

神戸という処は、あの山をね、造形的にやるとかえってそいつがもう一つ新らしくなり、いかにも神戸らしい何かが出てきそうな気がするんですよ。別に木をとってしまっても、また植えたらいいんですよ(一同爆笑)

革命というそんな大きなものでいかなくてもね、絵でもそうだと思ふんですよ、消すときおしくてもね、かえってその処を消したために面白くなることもあるんですよ。全部をつぶすともったいなから、一部をズバツときつてです、ね、何んとかならんかな(爆笑)

宮崎 工事の面からいって、六甲背山をそのままズバツときつてやれるのは須磨以外にないですね中西 こりゃ、あまり大きい声ではいえないな(一同爆笑)

宮崎 だからね、私の考えはね、いま申しあげたようにスカイ・ラインをズーッと残す——と、結局

裏の屏風は残すんだと。そして須磨については、いま裏側をとりやるんです。須磨寺や前山の方は残します。六甲山系は、裏からとるということは厚いから無理なんです。だから前山を部分的にとつて谷間は残していく。そして前山をとつたところは、鴨子ヶ原のように住宅街にしていく——これの構想はホノルルがそうなんでしょ。ホノルルの町はホテルから見られてもわかりませんが、深い山の中腹に家がズーッと並んでいます、ああいう構想をやってみたいというのでね。だから前山をきるとい



(中西勝氏)

うことには私はあまりやかましくいってないんです。いまの状態——中西さんの赤土が出てもいいという意見をうかがうのは始めてなんです「けしからん」としよっちゃう叱られてるんですが、私は「いまはきつてる、でもそのうち鴨子ヶ原のように家も建ち木も植えると、そうすると赤ハダもなくなる。だからそれまでお待ち下さい。いまは過渡期なんですから」といってるんですよ。

地域別

住宅街のカラーを決める

(小原)
小原 いま中西先生のお話にあっただんですが、私も御影に住んでるんですが、東神戸に住んでるわれわれにしますと後ろの赤いむき出しになった山ハダというのはね、人間的な感情からいうと耐えられないですよ。

私は、あれを何んとか片づけないかんと思ふんですよ。(隣り同士の中西・小原両先生の意見の相違に一同爆笑)

土木業者が削りすぎてるんじゃないかと思ふんですよ。

いい山だと思ふてる山がみんな無くなってるんですよ(爆笑)谷川は残してというお話ね、じつさい宮崎さんのお考えはいいと思ふんですが、それがうまいこと徹底してたらいいんだけど、その間に悪い業者が調子にのって何んぼでもかき落していきよるんですからね。

少しあの赤い屏風あがりすぎてるんじゃない。せつかく声屋から御影辺り一帯の環境の一番特長としている山を削るといこうことはもう自分の手足を削られていくような一種の苦痛を感じますね。

だから私はあれを適当に、ああ荒々しく見えんようにうまくカモフラージュできないものかと思ひますね。植樹して緑にするというようなことは、いくらがん張ってもなかなかできないんですよ。もう植えたものが簡単に大きくなりませんしね(笑)

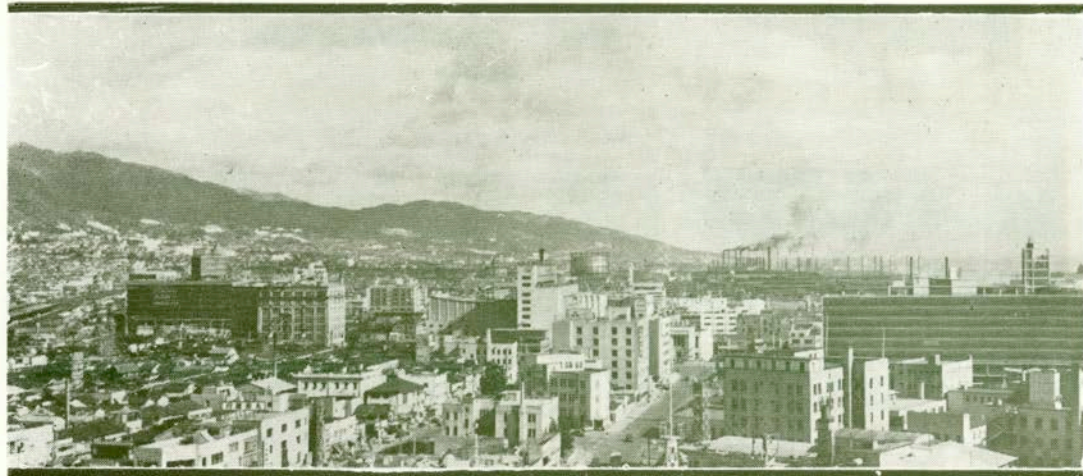
私、思うのですが、あそこへ独特の住宅街みたいなものが出来たらいいのに——と。

しかもこの地域の住宅には、屋根の瓦やカベの色は大体こういう色

神戸青年会議所
社会奉仕委員会



神戸の町を美しくしよう



お菓子のことなら

寿本舗

三宮店▷阪急神戸西口③0381

元町店▷元町通2丁目③1136



でやれとか、その地形と光線のあ
たった具合で、先生方のお力でそ
の地域だけのカラーを決め、形は
変っていても速くから見れば一つ
のその地域の色がバックになって
いるようなね、その間に緑を点在
さすということだったら私は耐え
られない不愉快な眺めがもつとじ
つくりと落ちついてくると思いま
す。

あれ見ると、せっかく芦屋、
御影方面へ出てきたものが「もう



(小原豊雲氏)

一回他所へ行こうか(笑)とい
う気になりますからね。

パリなんかへ行くと、ネオンサイ
ンにしても全部色を統一してま
す。カベの色一つにしても観
光局みたいなのがあって「ここは
こんな色を使ってはいかん」と、
ちゃんと決めてるんですよ。だ
から町の中へ入っていてもシッ
リしてるんですよ。その点、日
本のはケバケバしてますからね、
もつと遠く眺めて住宅地自体も風
光明媚な神戸の景色の大きな役割
を果たすようにしたらーという気が痛
切にしますね。

中西 僕はその必要は感じないで
すよ(またまた一同爆笑)

例えばね、僕の家がね、決めら

れてもてごらん、気分的にい
やすよ(爆笑)

「あ、あの色はミカゲヤノ」とい
うことになる(一同爆笑)

産業施設を 観光コースに入れよう

(西村)

西村 私の場合、デザインとまで
はいきませんが、部分的な話とし
て一つあるんです。すでに私自身
は実行してるんですけど、

例の摩耶埠頭なんです。ずっと
山をけずって、暗渠を通してます
ね、実際にブルドーザーでつぶし
て山に穴をあけているあのダイナ
ミックな現場は黒部峡谷へでも行
かないと実際には見られないん
ですよ。それには二、三日かかりま
すよ。

ところが、いま神戸にはたっ
り時間をかければ一時間、チョコ
チョコと行けば二、三十分で山を
ブルドーザーで崩している雄大な
ところがあるんですよ。そういう
処へ私は親セキの高校生が遊びに
来ると「オイ、ええとこへ連れて
いったら」と車で行くんです。そ
してその土地がどうして出来た
かとか、この穴に入ってみると、
横の詰め所にだまって入るんで
す。ことわりと入れないからね
(爆笑)そして中へ入って
いき、現場の人たちに「チョッと
見せて下さい」といって見学する
んですよ。そうすると涼しくもあ
り、国土の造成といえますかそう
いうものが見られるというわけで
すよ。こうしたものを観光コース
に入れたらどうか——というのが

私の一つの提案なんですよ。
宮崎 西村さんのそういうアイ
デアは、大へん結構なことだね、そ
ういうのを産業観光と称して、産
業施設を見せることによって、産
業をやっていくという、産業資源
が観光資源であるという考えはあ
るんですよ。貴方の考え方はそれな
んですよ、今年当初にその予算も
組んだんですが、産業施設は人が
たくさんくると嫌うんですよ(笑)
それで少し行き悩んでいます。でも
たしかにこれは新しいアイデア
ですよ。

西村 もう、かれこれ四、五十人
は連れて行きましたね。連れてい
くと、みんなびっくりするんです
ね、「ダイナミックな感じが、こ
んな処にあるのか」とね、女の人
連れていくと感激しますしね(爆
笑)

宮崎 このほか観光面では、ポ
ト・タワーを作りますからね。観
光資源である神戸港を、山から眺
めるのに港を真上から見おろして
実際に動いている港をみるのでは
また違ってくると思うんです。
山田 タワーの上には、人がたく
さん入られるような工夫をしてい
ただきたいな。バス一台きたら
いっぱいになるんじゃない(笑)

|| 布引にロープウェイ ||





宮崎 いや、そんなことはないでしょう(笑)二、三百人はラクに入りますよ。

神戸の町を美しく

非美術的な

看板追放案令を作っては：

(滝川)

滝川 この間、人を案内して時間つぶしに六甲山へあがったんですが、人と車が多いんですよ、もともとその時は例のコレラ騒動でよけいに人が山に集ったんでしようが、実際、僕は気分が悪くなつて芦有道路の方へ出ましたよ。

山の上もまあ、どういふのか交通調査が手信号でさばっていました、いまさらあの道を広くするといふこともいかにしようがね。あれでは六甲山が発展したという感じやなしに、六甲山も悲惨なものになったという気が痛切にしましたな (一同爆笑)

時間がなかったので、昔の散歩道のようなところをよう歩かなかつたけど、これはチト伸びすぎる

ので助役さんも大へんでしようね(笑)あれで、パチンコ屋と温泉マークの旅館ができたらもう六甲山やないと思えますわ。(一同賛成)

なんかここで市の条令つくっていただくか、手始めに非美術的な看板だけは追放していただけたらーと、思いますよ。あんまり手近かな話になりますけどね、宮崎 六甲山は、看板を制限しようと思えば広告物取締法というのでできるんですよ。

ところが、小原さんがいわれたような妙な家を建てさせないとか家のカベの色を決めるといふようなことはできませんね(笑)

パリなんかで出来るというのには市民がそれに対して協力するんですね。日本人は反対に何かいままは権力に反抗するのが進歩的だーといふふうを考えられますから、そんな条令を作ると、すぐ裁判所へ提訴して「この条令は憲法違反である」という判決を誰かがとりますよ。いまの憲法からいいうと私権を保証していますから、これ

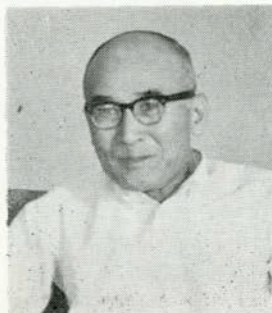
は憲法違反になるんですね。中西 規制することができないんなら、指導というか、賞、ほめるーという方法ではどうか。

山田 そういふことを協会がよくやるんですけどね。やはり看板はあくまでも宣伝媒体として考えられますからね。かならずしも広告がたくさんあるから町がキタナイということじゃなく、広告の場所なり、大きさ指定して、やたらにつけさせないでひとところにとめるようにすればいいんじゃないでしょうか。町の一個所に広告塔を作るとかね。

とくに都心では街頭の看板を規制するということが大事な問題じゃないでしょうか。媒体はさがせばあると思うんです。歩道と車道の間にはキレイなサクを作つて広告掲載用に使つて掲載料をとるのも一案ですよ。またタバコの吸いガラ入れやゴム籠などを何んとか宣伝媒体にするとかして街頭のあちこちに並べれば、町の中もキレイになりますすね。

滝川 ほんとに所かまわず広告を張りすぎてるようで、これは僕は社会人として常識が欠けてると思うな。もう情けないけど、お布れ出さん限りはきかんですよ(笑)

(滝川勝二氏)



山田 お役所の方で規制していた
だかんことにはね。

牛尾 たしかにベルリンやスイス
などでは町自体で広告している場
所を決めていますね。住宅地区に
はやってませんね、繁華街の通り
にはズーッとやっていてあとはし
てませんよ、それを神戸でやった
らどうでしょう。

山田 これはぜひお願いしたいで
すね。全国で広告協会というのが
あって広告の倫理規定などは一応
作ってるんですよ。でも媒体の規
制まではまだ手がとどいてません
全国的にはとても徹底させるこ
とはできないでしょうが、神戸の
場合は、それが地域的にもやりや
すいんじゃないかな。

滝川 宮崎さんさえ決心してくれ
たらね(一同爆笑)

小原 広告の張る場所を規制する
ということは賛成ですな。

挽地 氾ランしている広告の数を
少なくして、少くとも市として
は、ここここが広告地区だから
ここに張れというふうにして、も
ちろんスポンサーもデザイナーも
協力せないかんと思うし、だから
お互いの協力の度合いで大分ちが
ってくると思うな。そういう一線
をひいていただけたらね。

山田 モデル地区の設置ですね。
一同そうですよ。

西村 すくなくとも、個人、会社
を問わず、自己の営業所のみにお
いては、どんなものを作ってもい
いというのを許すんですよ。そ
うすると電柱にかけてる予算全額
をビルの上へかけたなら、東京タ
ワームみたいな、ものすごいもの
が建つんじゃないかと思うな(爆笑)
でかいものやったらね、銀座へ

行くとトヨペットがまわってま
す「アホやな、やってるな」とや
っぱり見ますがな(一同爆笑)

牛尾 そりゃ見ますわね(爆笑)

公園地帯と舞子・須磨に
ロング・ビーチを作ろう。

(牛尾)

牛尾 僕はね、現実の問題として
一つだけでもいいから、神戸市で
まともな公園を作ってほしいです
ね。舞子公園や須磨などありま
すが、てんでバラバラですわ。



(牛尾吉朗氏)

舞子公園に至っては、まあ、観
光バスのトイレットみたいなもの
ですよ(一同爆笑)

須磨浦公園はね、緑の塔などが
出来てますがね、一方では変な茶
屋が残っていて、全然合っていない
んですよ。

このようにどの公園みても全部
中途半端なんですな、あれをね、
どこでもいいから一個所だけ本当
の神戸の、ハイド・パークとまで
いなくてもいいね(笑)。公園地帯を
作ってほしいな。

もう一つは、須磨以西はね、さ
いさん海水浴客が多いんですよ、
その人たちが泳ぎにきて駐車場が

ないんですよ。第二に海が汚れてる
んですよ。だから大磯のロング・
ビーチみたいいに舞子公園の中にプ
ールを作っていた方がいい。海水
をひきこんで三つでも四つでもい
いからね、これは須磨浦公園でも
そうでこれによって大いに伸びる
んじゃないかと思いますが――。

宮崎 須磨浦公園の「海の家」の
前にプールを作る計画はあるんで
すよ。

牛尾 それを早くやっていただけ
ればね。そしてこの「神戸をデザ
インする」というように「公園を
デザインする」というグループを
作って一つ一つ違った公園を作っ
て下さいよ(笑)

挽地 神戸市としてキャンペーン
をたててね、もつと神戸市民の協
力を喚起したらいいかな。新ら
しい公園となれば、やっぱり諏訪
山や金星台など「山」ということ
になるでしょうね。

牛尾 これまでも噴水などいろ
んなものがたくさん作られてます
が、ほめられたのは「花時計」だ
けじゃないかな(笑) あとののは放
置状態なんですよ。

宮崎 そんなこともないですよ、
須磨の緑の塔もいいですよ。

牛尾 それと、「神戸に中心を作
ろうじゃないか」という問題です
ね。野球場とか、交響楽団などと
文化的なものを考えていただいた
ら――。

山田 大倉山は、どのような計画
をおもちですか。

宮崎 体育館とか、音楽堂とかい
うものにしつと考えてます。

昔は、あそこ公会堂と市庁舎
を建てるという予定だったんです
よ。いまは市民が直接、使うもの

を建てようという計画なんです。

神戸の特質

「山」を最高に生かす

(挽地)

挽地 僕の構想はいささか現実より先きの方へ行くんですが、仮りに「お前にこの町やるから好きなようにデザインしてみる」といわれたらね、神戸の特色、例えば山というものをもっと最高に生かしたいんですよ。六甲山にしてもまだまだ有効なところが十分利用されてないと思うんです。

大分話が大きくなるけど、学校なら学校とか、例えば、ここはもう学校ばかりの山だとかいうふうにしてまず学校を山の上にあけてしまします。そうすりゃ、みな同じ環境になり差別意識はなくなりスラム街や布引中のような問題も起らないと思うんです。

下は、会社とか道路などいわゆる住宅地の全然ないビジネスとしての地域してしまうんです。

そして山の中腹に住宅街をもつてきます。さらに上には、子供たちばかりの遊園地や、若い人たちの遊び場を作ったりというふうな山を生かしたものと組織だった方法がないものかと思うな。とにかく六甲山だけでなく神戸の背山は全然生かされてないような気がするんですよ。

宮崎 たいへん、結構なお話なんですけど、現実にはそれだけの財源がありませんでしよ(笑)

西村 これは現実にもものすごく金がかもる話なんですがね(爆笑)市や県庁、学校などはみな山の上へあげちゃうんですよ。そして口

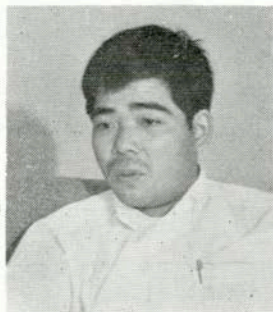
ーラ・コースターをつけるんです。六甲山の上から神戸港まで何本かのローラ・コースターがあると、これはもう交通の緩和ですわね。これをやってごらんない。世界に一つしかないから遊覧船が着きますよ。そうすると神戸に金を使おうとこういうわんなけですが；

(一同爆笑)

第二阪神国道

今年十二月に貫通／

宮崎 第二阪神国道の話ですが、これは五十米の幅で大阪から神戸へ抜けようというわけなんです。河野大臣の来神で一躍脚光を浴び



(挽地正雄氏)

十二月までに貫通させることという言明なんです；

五十米全部通るんじゃないんですよ、それはまだまだですが、あるところは三十米、二十米でもいいから、とにかく車が通るだけせよーというわけなんです。これはもう十二月に通ります全部打ち合わせもすんでますからね、通った姿を想像していただくにはね、芦屋から西宮までを見ていただくとかわかります。ここは出来あがってますからね、五十米の道路って実に立派ですよ。まあおそろく日



ひんくこーなー

川柳に「ノミ一つ娘盛りをはだかにし」といったのがあります。外国ではノミに「自叙伝」を書かれています。「わたし(ノミ)」はもって生れた専門的職業にとりかかるために、若い娘さんの、まつ白な、やはらかいフクハギにとりつきました。その娘さんの名がベラだということを、あてやかな絹のストッキングをきれいに縫いとりされてあるのを知りました。そのからのお話は本を読んでもらうより仕方ありません。しかし、ノミをうらやましいなどと思っはなりません。ノミ自身は命がけの冒険をやっているだけのことです。

そこへ行くと江戸っ子の方もつと賢明です。春信が考えたのは人間そのものを一寸法師のように小さくすること、しかも他人から姿は見えないようにすることでした。これなら踏みつぶされないよう警戒する以外は安全です。とにかく、他人から見られてるところを見るほど愉快なことはありません。高橋直というえらい武士でも塩谷判官の細君の湯上り姿をのぞき見しています。「裏窓」という映画が当たったのも、ヒチコツクだスリラーなどといっているが、結局はのぞき見することの楽しさを描いているからです。

(T)

本で最高のものでしようね。神戸市内は、東から入ってきまして、昔の、いわゆる旧国道といわれる御影の酒蔵の間になつてゐるようなね、あれを広げて脇浜の今の国道へ出てきます。

牛尾 神戸製鋼のところでですね。宮崎ええ、それから分かれて生田川の南側を通って海岸通りへつきます。海岸通りはあれだけ大きな建物がありますから、五十米はとれません。あのまま三十米できて神戸駅の南側回りからまた五十米になります。そして兵庫の鍛冶屋町から尻池の間まで抜けてますがあの道路へ連絡し、須磨線を五十米に広げ須磨までもつていく――



(西村雅司氏)

という構想です。これができると実に立派なものになりますよ。

牛尾 大阪側の計画は、昭和四十年まで第二阪神国道の計画は入ってないようになっていますが……

宮崎 入ってるんですけど、一応二十五米にして、あとで拡張する計画のようですよ。

牛尾 まあ、痔みたいな道路なんですってね、出口が悪くて……

(一同爆笑)

宮崎 しかし近代的な道路ですよ、挽地 横断歩道が長すぎませんから、宮崎 ですから、できるだけ陸橋

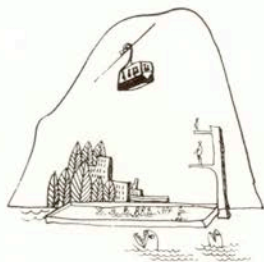
にする予定です。芦屋に出来てる陸橋のようにしようと思つてます結局、陸橋で渡らないとしかたないでしょうね。その時にこそ陸橋のデザインをいいものにしなないと、上に出来すからね、妙なものを造られると困りますよ。滝川 とにかく東から入ってきて西へ出る道がありませんからね、でも道幅は市の方でも計画されてることだし、貫通すれば問題はないでしょうが……

あんまりえらい勢いで伸びすぎたんでしようかね。中西 そうでしようね。

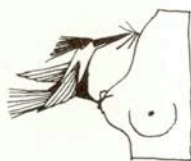
神戸にぜひ欲しいもの

西村 神戸に一つないものは天文台なんです。これは海洋気象台にね十インチの天体望遠鏡があるんです。ところが鳩の巣になっていて、レンズにはベタツと鳩のウンちゃんがついてるんです(爆笑)だから僕はね、この神戸海洋気象台にある十インチの天体望遠鏡を新しいポルト・タワーに持ってきてね、大いに利用したらと思うんです。扱ひ方だけを説明できる人をおいて、あとは小、中学生に開放するんです。

牛尾 僕が望むのは、前からやっ
|| 須磨・舞子にロング・ビーチ ||



びんくこーなー



俳諧寺入道一茶は五十の坂を越してから妻帯した晩婚の人です。そして十三年間に三人の妻をかえています。一茶が四十四才だった文化十三年八月の日記を見ると、必ずといっていいほど数字が終りにはいっています。たとえば「八日晴、夕方雨、菊女帰る、夜五」それが十一日には夜三、十五日には夫婦月見して三、十六日にはみんな留守で三、十七日には夜三、十八、十九、二十日はいづれも三、しかしこの三は夜とは書いていません。二十一日は夜通し大雷のあつたあとだけに且(朝)飯四となつています。いつたいなんの数字かな。翌年八月の日記にはまた十四日三、十五日三といった数字が見えるが、同年十二月ごろから数字はめっきりと減ってきました、十五日、大雪、暁一といった調子です。そのかわり夜というのがなくなっています。二十一日暁一、二十三、二十四、二十五の三日は連続して且(朝)一。それはさすがに六十歳の文政五年正月の日記になるともう数字は出てきません。△九日、晴、夜▽十三日晴、且八十七日晴、且▽十九日雪、且といった調子です。五十年も独身でためていては、ムリもないことかも知れませんがとにかく遅ればせの大活躍を物語る貴重な日記です。(T)

てられる、ヘッド・ライトなしで夜、神戸が走る町にしてほしいだから水銀灯など、町を明かるくする運動”を大いにやってほしいですね。

山田 町を美しくする”ということから、町に紙クズ、ガム、タバコの吸いガラを捨つけない運動も拡めてほしいですね。

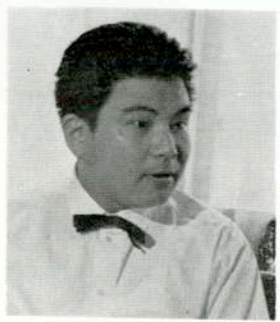
小原 私ら自分の仕事の関係からいえますが、ヨーロッパをまわってみてウインドウ・ガーデンというものが非常に発達しているのに感心させられたのです。しかも日本では庭を造つたら家の人がまず見る。囲いを作つて外を通つて人には全然わからないようにしてありますね。向うのウインドウ・ガーデンとは、その町自体の装飾なんですよ。だから僕は、神戸という町は県や市の方でもいま「花いっぱい運動」ということがいわれているんだから……。またさいわい市庁の横に「花時計」があり花を美しく見せるといふ「仕掛け」があるんですからこれをもつと一般市民に徹底させ、そして牛尾さんの緑化協会で大いに活躍してもらつて「窓に花を……」ということを大いに拡めてほしいですね。

そうお金のかかることでもありませんからね。花の種類は季節的に違つてきますが、ヨーロッパはどこでもセラニウムという花ばかりです。花が強烈に赤く、葉が青々と茂つてんです。ちよつと匂いは悪いですけどね、虫がつかないんです。だから葉が黒々と健康に育ちます。とにかく通りから見るとこのセラニウムが赤いリボンのように見え美しいですよ。

宮崎 日本はありがたいことに冬

でも葉ボタンというのがありますからあの花時計が一年中花がないという時はありませんわ。おそらく世界中で、一年中花のきれいな花時計といえば神戸だけだと、自負しています。みなさんが、ウインドウ・ガーデンをやり出したら、難かしいでしょうが、花時計の花と同じ花を使うーそうすりゃ面白いですよ。

牛尾 神戸の今月の花は「菊」なら「菊」というようにね。



(山田芳信氏)

滝川 ただし、ビルの窓に花を飾るときは上から落ちてこないように気をつけてもらわないけませんな。

小原 ええ、ハチ・カバリーを作つて窓ワクの中に入れてもらうとかしましてね。きつとたのしいですよ。

山田 とりあえず、神戸の町を美しくするのから始めていただきましょうか。

宮崎 今日、とてもよい参考意見がうかがえうれしく思います。これからも大いに神戸のために協力して下さい。

一同 大いにやりましょう！

表紙のことは

朝の食卓
小磯良平

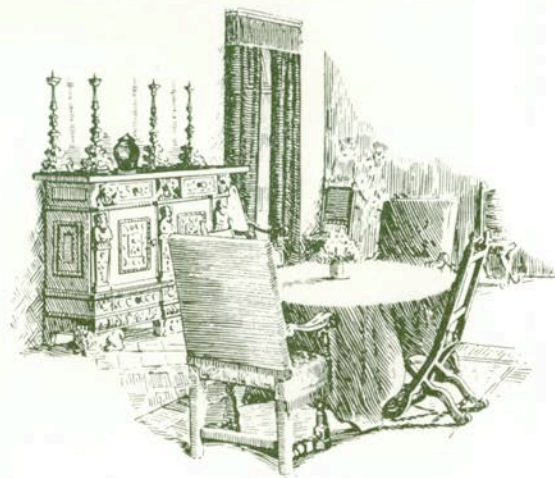
私が一昨年パリで描いた作品です。

ちようど、静かな秋でした。

パリでの秋には、朝食に果物が盛られます。あの微笑ましい形をした、西洋梨です。容器も楽しくてジャレタものです。この表紙の絵のバックにあしらっているのは、美しい菓子包みです。少し分厚い紙の容器で、端をレース模様でふちどつたのがあります。あの紙皿に洋菓子を並べ、綺麗に四方から包み、上をリボンかなんかで結んで渡して呉れます。

日本のお菓子の箱とは違つた包紙の味わいをバックにしてみた訳です。西洋梨に牛乳とパンこんなアッサリとした朝食は、パリのさわやかな秋にピッタリと適つたものです。忘れられない秋のパリの朝の食卓の一コマです。

家具・室内装飾・工芸品



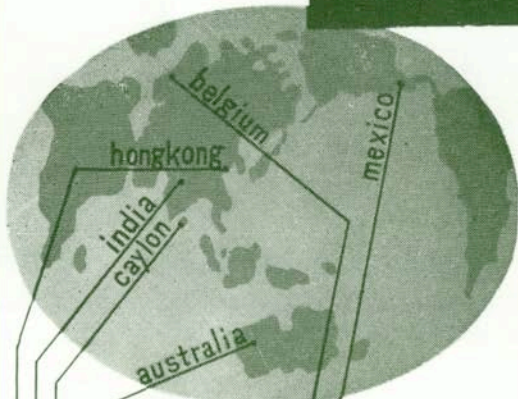
永田良介商店

大丸前 TEL { ③ 5 5 2 0
 ③ 1 2 9 0

呉邦陳設
みよこ也

神 戸 大 丸 前
電話神戸(3)三三八八ノ九番
大阪店 阪神百貨店三階
電話大阪(4)五五四八番
姫路店 やまとやしき百貨店三階
電話姫②一 二二一番

DIAMOND



タイヤ
 メキシコオパール
 オパール
 猫目石スターサファイヤ
 エメラルド・ルビー・サファイヤ
 ヒスイ

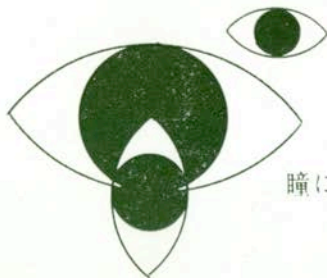


世界の
 宝石を
 結集した

宝石輸入商・宝飾店

タジマ

神戸・元町2丁目
 TEL ③ 0387・2552



瞳に美しさを保つ
 スポーツに
 美容に
 現代の科学が生んだ
 コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葦合区御幸通八丁目九ノ一(三宮駅前)
 神戸国際会館内 TEL(22)8161・8361





マタム コンパニワ

山 小 屋

山小屋という名から受ける感覚とは、だいぶんかけはなれた垢抜けたバーである。分厚いゆつたりとした、足掛けのあるカウンターなど本格的だし素晴らしい。「最初はカウンスターの前の腰掛をなくするつもりだったんです」と話す女主人の長光操子さんはチャキチャキの神戸っ子。

「生家はね、元町四丁目ですよ。海岸通に店があつて、長光商店といつて海軍の御用商だったんです。この山小屋は昭和二十一年六月にこの場所で開き、ムーンライトのママと一諸に始めたんですよ。その頃この三宮あたりは、草が生えてました。トタンブキの家がチラホラ建っているぐらいで、隣にフロイドドリーブご夫婦が住んでいらつしやいましたね。」

という程だから戦後派ではあるが経験は豊かである、店の特長はスナック風であることだ。日本郵船で腕を磨いた兄さんが直接、うまい料理をつくってくれる。だから小じんまりとして、何気ない店構えだがそこには、神戸らしいハイカラの味が息づいている。彼女は「東京のバーは次第によくになりましたね。ホステスもいいし、客も一流です。ね神戸のバーも、いろいろの意味で勉強して行かなければと思います。私はスポーツ好きなんです。よ、高校野球のファンで昔、家でラジオを聞いていたまらなくなると座布団を持って甲子園えかけつけたものなんですよ」という言葉の端々に山小屋がひよいと顔を出した、気性のサッパリした気分のいい女性はあきがない。というのはこの長光さんのような女性のことだろう。酒を飲むなら山小屋がいい。(Y)